

# 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月24日

上場会社名 ステラ ケミファ株式会社  
 コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 深田 純子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 秋山 昌広  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日 配当支払開始予定日 平成20年11月20日

上場取引所 東 大

TEL 06-4707-1512

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	14,825		942		895		473	
20年3月期第2四半期	12,561	17.2	1,770	8.4	1,752	8.5	1,079	14.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	38.47	
20年3月期第2四半期	87.77	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
21年3月期第2四半期	36,255		16,155		43.3	1,275.86
20年3月期	35,581		16,044		43.8	1,267.38

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 15,692百万円 20年3月期 15,588百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		14.00		19.00	33.00
21年3月期		14.00			
21年3月期(予想)				19.00	33.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,656	8.5	1,809	35.9	1,787	34.4	1,141	35.1	92.77

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 社(社名) 除外 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 以外の変更 無  
 [(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。]

### (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	12,300,000株	20年3月期	12,300,000株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	78株	20年3月期	120株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	12,299,903株	20年3月期第2四半期	12,299,880株

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月25日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱や素材価格の高騰により、企業の収益は減少傾向にあり、景気の減速感が一層強まってきました。

このような環境のもと、当社グループはフッ化物総合メーカーのリーディングカンパニーとして、国内外の情報通信産業を中心に顧客ニーズにもとづいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウにもとづいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第2四半期累計期間の高純度薬品事業におきましては、フロン部門、表面処理部門および電池部門などの売上高が増加しました。運輸事業におきましても引き続き売上高が順調に推移しました。その結果、連結売上高は148億25百万円（前年同期比18.0%増）となりました。一方、損益面におきましては、原材料の高騰の影響等により連結営業利益は9億42百万円（同46.7%減）、連結経常利益は8億95百万円（同48.9%減）、連結四半期純利益は4億73百万円（同56.2%減）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は362億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億73百万円増加しました。流動資産は125億49百万円となり、19億78百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金が12億18百万円の増加、たな卸資産が9億89百万円の増加等です。固定資産は237億6百万円となり、13億5百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産が11億72百万円の減少等です。

負債は200億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億62百万円増加しました。流動負債は129億16百万円となり4億35百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が7億28百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金が2億62百万円の増加、設備支払手形が5億41百万円の減少等です。固定負債は71億82百万円となり1億26百万円増加しました。主な要因は長期借入金が1億4百万円の増加等です。

純資産は161億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が2億39百万円の増加、評価・換算差額等が1億35百万円の減少等です。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.8%から43.3%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第2四半期末の現金及び現金同等物は、以下の記載のキャッシュ・フローにより12億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億62百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が8億62百万円、減価償却費が13億98百万円計上する一方、売上債権の増加が12億24百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは8億10百万円の収入となり、前年同期に比べ11億95百万円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により12億1百万円の支出となり、前年同期と比べ19億38百万円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の調達や配当金の支払等により1億20百万円の収入となり、前年同期と比べ12億95百万円収入が減少しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する世界経済の低迷などにより、景気の減速感が強まるものと予想されます。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績見通しにつきましては、前決算発表時（平成20年4月25日）のとおり、連結売上高は276億56百万円（前期比8.5%増）、連結営業利益18億9百万円（同35.9%減）、連結経常利益17億87百万円（同34.4%減）、連結当期純利益11億41百万円（同35.1%減）を見込んでいます。

（連結業績予想）

売 上 高	27,656百万円	（前期比 8.5%増）
営 業 利 益	1,809百万円	（前期比35.9%減）
経 常 利 益	1,787百万円	（前期比34.4%減）
当 期 純 利 益	1,141百万円	（前期比35.1%減）

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

2. 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことにもない、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下にもとづく簿価の切り下げの方法）により算定しています。

これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ42百万円減少しています。

3. 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しています。

これによる損益に与える影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成20年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,216	1,479
受取手形及び売掛金	7,881	6,663
商品	308	180
製品	868	683
原材料	844	457
仕掛品	814	536
その他	628	580
貸倒引当金	13	12
流動資産合計	12,549	10,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 ( 純額 )	7,619	7,729
機械装置及び運搬具 ( 純額 )	6,157	6,368
土地	5,531	5,531
その他 ( 純額 )	1,870	2,722
有形固定資産合計	21,180	22,352
無形固定資産		
その他	80	118
無形固定資産合計	80	118
投資その他の資産		
その他	2,446	2,541
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	2,445	2,540
固定資産合計	23,706	25,011
資産合計	36,255	35,581
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,677	1,948
短期借入金	5,711	5,746
1年内返済予定の長期借入金	2,416	2,154
未払法人税等	385	386
賞与引当金	131	128
その他	1,593	2,115
流動負債合計	12,916	12,480
固定負債		
長期借入金	6,135	6,031
退職給付引当金	694	665
役員退職慰労引当金	331	337
その他	21	21
固定負債合計	7,182	7,056
負債合計	20,099	19,536

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,180	3,180
資本剰余金	3,288	3,288
利益剰余金	9,406	9,167
自己株式	0	0
株主資本合計	15,875	15,635
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	186	142
為替換算調整勘定	4	95
評価・換算差額等合計	182	47
少数株主持分	462	456
純資産合計	16,155	16,044
負債純資産合計	36,255	35,581

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
 ( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
売上高	14,825
売上原価	12,172
売上総利益	2,652
販売費及び一般管理費	1,710
営業利益	942
営業外収益	
持分法による投資利益	72
雑収入	93
営業外収益合計	165
営業外費用	
支払利息	124
為替差損	81
雑損失	7
営業外費用合計	213
経常利益	895
特別利益	
固定資産売却益	2
特別利益合計	2
特別損失	
固定資産廃棄損	13
投資有価証券評価損	18
その他	2
特別損失合計	34
税金等調整前四半期純利益	862
法人税等	376
少数株主利益	12
四半期純利益	473

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	862
減価償却費	1,398
貸倒引当金の増減額(は減少)	1
賞与引当金の増減額(は減少)	2
退職給付引当金の増減額(は減少)	29
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	6
受取利息及び受取配当金	14
支払利息	124
為替差損益(は益)	8
持分法による投資損益(は益)	72
投資有価証券売却損益(は益)	1
投資有価証券評価損益(は益)	18
有形固定資産廃棄損及び売却損益(は益)	11
売上債権の増減額(は増加)	1,224
たな卸資産の増減額(は増加)	991
仕入債務の増減額(は減少)	731
その他の流動資産の増減額(は増加)	47
その他の流動負債の増減額(は減少)	61
未収消費税等の増減額(は増加)	0
未払消費税等の増減額(は減少)	48
その他	425
小計	1,256
利息及び配当金の受取額	33
利息の支払額	111
法人税等の支払額	368
営業活動によるキャッシュ・フロー	810
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,285
有形固定資産の売却による収入	6
投資有価証券の取得による支出	0
投資有価証券の売却による収入	18
その他の支出	18
その他の収入	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,201

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	19
長期借入れによる収入	1,696
長期借入金の返済による支出	1,323
自己株式の処分による収入	0
自己株式の取得による支出	0
配当金の支払額	232
財務活動によるキャッシュ・フロー	120
現金及び現金同等物に係る換算差額	8
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	262
現金及び現金同等物の期首残高	1,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,216

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	高純度 薬品事業 (百万円)	運輸 事業 (百万円)	メディカル 事業 (百万円)	コス メ テ ィ ッ ク 事 業 (百万円)	その 他 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,507	2,210	—	20	87	14,825	—	14,825
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	1,500	—	—	84	1,586	(1,586)	—
計	12,509	3,710	—	20	172	16,411	(1,586)	14,825
営業利益又は 営業損失(△)	990	239	△156	△149	18	941	0	942

(注) 事業区分の方法の変更

事業区分の方法については、従来、事業の種類・性質の類似性等の観点にもとづき3区分としていましたが、第2四半期連結会計期間より、従来その他事業に含めて表示していたメディカル事業およびコスメティック事業の全セグメントに占める割合が高くなったため、メディカル事業およびコスメティック事業をその他事業から分離することとしました。

なお、当第1四半期累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結会計期間において用いた事業区分の方法により区分すると次のようになります。

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	高純度 薬品事業 (百万円)	運輸 事業 (百万円)	メディカル 事業 (百万円)	コス メ テ ィ ッ ク 事 業 (百万円)	その 他 事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,260	1,185	—	11	41	7,499	—	7,499
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	685	—	—	43	731	(731)	—
計	6,261	1,871	—	11	85	8,230	(731)	7,499
営業利益又は 営業損失(△)	671	162	△73	△35	6	730	0	730

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア諸国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	14,608	217	14,825	—	14,825
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	529	4,350	4,879	(4,879)	—
計	15,137	4,567	19,705	(4,879)	14,825
営業利益	936	2	938	3	942

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア諸国	北米	欧州諸国	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	4,895	369	336	7	5,609
II. 連結売上高（百万円）					14,825
III. 海外売上高の連結売上高に 占める割合（％）	33.0	2.5	2.3	0.0	37.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		12,561 100.0
II 売上原価		9,444 75.2
売上総利益		3,117 24.8
III 販売費及び一般管理費		1,347 10.7
営業利益		1,770 14.1
IV 営業外収益		
1. 受取利息	3	
2. 受取配当金	12	
3. 負ののれんの償却額	41	
4. 持分法による投資利益	45	
5. 雑収入	54	157 1.3
V 営業外費用		
1. 支払利息	131	
2. 為替差損	41	
3. 雑損失	1	175 1.4
経常利益		1,752 14.0
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	4	
2. 投資有価証券売却益	50	
3. 受取賠償金	20	74 0.5
VII 特別損失		
1. 固定資産廃棄損	15	
2. 固定資産売却損	4	
3. 会員権評価損	4	25 0.2
税金等調整前中間純利益		1,801 14.3
法人税、住民税及び事業税	657	
法人税等調整額	15	673 5.3
少数株主利益		47 0.4
中間純利益		1,079 8.6

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	1,801
減価償却費	1,024
負ののれんの償却額	△41
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	5
賞与引当金の増減額 (減少: △)	34
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△7
役員退職慰労引当金の増減額 (減少: △)	18
受取利息及び配当金	△15
支払利息	131
会員権評価損	4
有形固定資産廃棄損及び売却損益 (益: △)	16
投資有価証券売却損益 (益: △)	△50
持分法による投資利益	△45
為替差損益 (益: △)	△4
売上債権の増減額 (増加: △)	△626
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△248
仕入債務の増減額 (減少: △)	388
その他流動資産の増減額 (増加: △)	45
その他流動負債の増減額 (減少: △)	△51
未収消費税等の増減額 (増加: △)	135
未払消費税等の増減額 (減少: △)	84
その他	27
小計	2,628
利息及び配当金の受取額	31
利息の支払額	△133
法人税等の支払額	△521
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,005</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△3,035
有形固定資産の売却による収入	5
投資有価証券の取得による支出	△0
投資有価証券の売却による収入	70
子会社株式の取得による支出	△185
その他の投資活動による支出	△7
その他の投資活動の回収による収入	13
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,140</b>

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (百万円)
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (減少: △)	2,237
長期借入れによる収入	492
長期借入金の返済による支出	△1,078
少数株主への配当金の支払額	△2
配当金の支払額	△232
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,415</b>
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>16</b>
<b>V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)</b>	<b>297</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>901</b>
<b>VII 現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>1,199</b>

## (3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	高純度薬品 事業 (百万円)	運輸事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,460	2,009	91	12,561	—	12,561
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,430	75	1,506	(1,506)	—
計	10,460	3,439	166	14,067	(1,506)	12,561
営業費用	8,977	3,170	148	12,297	(1,506)	10,791
営業利益	1,483	269	17	1,770	0	1,770

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア諸国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,714	847	12,561	—	12,561
(2) セグメント間の内部売上高又 は振替高	305	2,090	2,395	(2,395)	—
計	12,019	2,937	14,956	(2,395)	12,561
営業費用	10,583	2,605	13,189	(2,397)	10,791
営業利益	1,435	331	1,767	2	1,770

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	アジア諸国	北米	欧州諸国	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	3,604	424	323	7	4,359
II. 連結売上高（百万円）					12,561
III. 海外売上高の連結売上高に 占める割合（%）	28.7	3.4	2.6	0.0	34.7